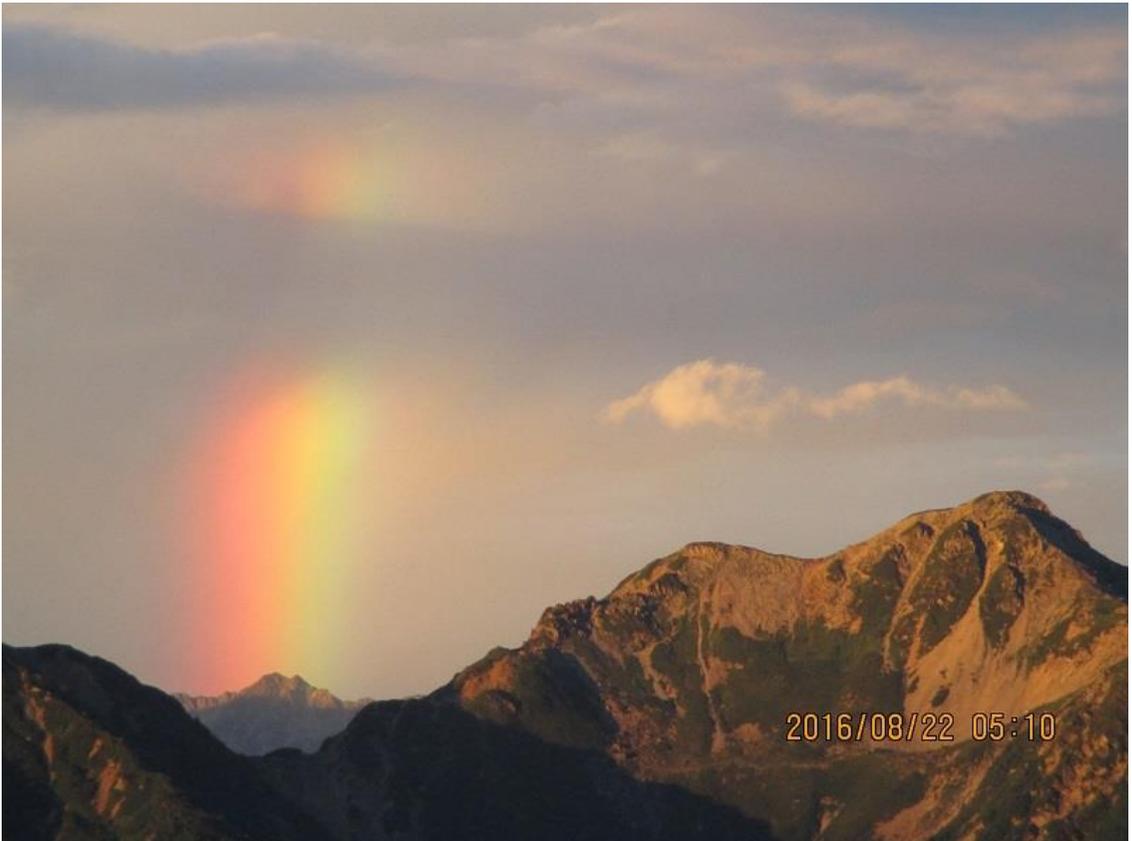


# 西大和つうしん

2016年10月号  
No.412



種池山荘付近より、不思議な虹が差す水晶岳を望む  
右手前の稜線はモルゲンロートに染まる針ノ木岳  
〈2016年8月22日早朝〉

奈良県勤労者山岳連盟  
西大和山の会

# 西大和つうしん

第412号(2016年10月号)

## 【目次】

10月度山行計画	1
10月度・11月度カレンダー	3
山行・行事等参加メモ	4
山行報告	
・自主山行 《8/18-22》 北アルプス 唐松・五竜・鹿島槍(橋本)	5
・自主山行 《8/24-27》 南アルプス 甲斐駒ヶ岳・仙丈ヶ岳(中・杉森)	7
・例会山行 《8/28》 室生赤目 赤目四十八滝(田中初)	9
・自主山行 《9/1-5》 北アルプス 南岳～穂高縦走(杉村・橋本・島崎・野路)	10
・例会山行 《9/4》 大峰前衛 広域搜索訓練(中)	15
・例会山行 《9/11》 信貴生駒 千光寺～信貴山(杉森)	16
室内例会だより(8/31)	17

## 10月度山行計画

～のんびりと里山を歩きましょう～

### 例会山行1 矢田丘陵 《松尾山・矢田山》

【日程】2016年10月2日(日)(L多賀)

【集合】JR法隆寺駅(北口) 8:30 出発

【コース】法隆寺駅～(15)～法隆寺～(45)～松尾寺～(15)～国見展望台～(30)～  
頂上展望台～(4)～矢田山～(18)～緑ヶ丘休憩所～(10)～小供の森～(22)～  
小笹ノ辻～(35)～足湯～(35)～南生駒

【歩行時間】約5時間(休憩含む)

※帰着予定 王寺駅 15:00 頃

～10月の連休に紅葉の山を歩きませんか?

のんびりゆったり山行です～

### 自主山行 北アルプス 《雨飾山と柵池公園》

【日時】2016年10月7日(金)～10日(月)(L藤井)

【集合】王寺付近 9:00 出発

【コース】《7日》王寺付近(9:00)⇒(リッカ-)⇒小谷温泉：山田旅館(17:00)(泊)

《8日》登山口～(1h35)～荒菅沢～(1h25)～笹平～(20)～雨飾山 1963m～(15)～  
笹平～(50)～荒菅沢～(1h20)～登山口：柵池高原ホテル(泊)

《9日》柵池高原⇒(ジノラ・0-7ウイ)⇒柵池自然園～(1h)～天狗原～(1h30)～白馬  
乗鞍岳～(30)～白馬大池～(1h30)～天狗原～(40)～柵池ヒュッテ(泊)

《10日》柵池自然園散策⇒(0-7ウイ・ジノラ)⇒柵池高原⇒(リッカ-)⇒王寺(19:00)

～山を、道を、大自然を、イメージする楽しみを！～

### 座学&例会山行3 (教育山行)

【テーマ】「地図読み」〔担当：藤本〕

【日 程】座 学：2016年10月14日(金) 19:30～ 於：事務所

実技山行：2016年10月16日(日) 行先等詳細は座学にて決定

【教育目的】地形図の表記と実際の地形を照合する練習を通して、地図から現実をイメージする力を養います。このイメージ能力は、山行計画時や現地でのルート選択、危険回避をはじめとする様々な状況への対応等といった、広い意味での「ルートファインディング」のために必要不可欠なものです。

※実技山行は座学の参加を前提としますが、どうしても都合のつかない場合はその限りではありません。また、座学のみ受講も歓迎いたします。

※実技山行の行き先は地図読みの実践を兼ねながらも、山行そのものを楽しむことも考慮して選定します。

～県連40周年記念交流山行～

### 例会山行2 北摂の最高峰 《るり溪～深山 791m》

【日 程】2016年10月23日(日) 《少雨決行》 (L今井)

【集 合】上牧役場前駐車場 7:45 出発

【コース】るり溪遊歩道入口(10:00)～通天湖/るり温泉(11:00)～深山登山口(11:30)～深山山頂(12:45 昼食)～深山登山口(14:30)～るり温泉(14:45) 入浴後(16:00 発) ⇒ 上牧役場前駐車場(17:30 頃)

※ 入浴セット必携

※ 雨天の場合：るり溪散策後、温泉入浴 & 懇親会を実施します

## 11月度 山行計画

～音羽三山縦走から、紅葉が美しい談山神社へ～

秋の山歩きを楽しみましょう！

### 公開山行 (例会山行1) 《音羽三山》 音羽山・経ヶ塚山・熊ヶ岳

【日 程】2016年11月13日(日) (L 亀高)

【集 合】8:00 桜井駅南口 (JR/近鉄桜井駅のJR側)

8:12 桜井駅南口⇒(桜井市コミュニティバス)⇒8:25 下居下車

【コース】下居バス停(8:40)～音羽観音(善法寺)(9:30)～展望所(10:15)～音羽山(10:45)～経ヶ塚山(昼食 11:25/11:50)～熊ヶ岳(12:40)～大峠(13:20)～不動滝バス停(14:20) (ここで解散とします)

〔不動滝発のバス：14:32, 15:36〕 桜井駅まで 23分

《希望者のみ》～談山神社(14:50)

〔談山神社発バス：15:32, 16:37〕 桜井駅まで 30分

【歩行距離】 不動滝まで約 8km、談山神社まで約 9km

※音羽三山は、秋は紅葉の名所として知られる談山神社の東、龍門ヶ岳連峰の北端にあり、ハイキングに訪れる人も増えています。ただ、大半が人工林で展望も少ないため、下山・解散後、希望者で談山神社まで歩き、紅葉を楽しみたいと思います。

# 西大和山の会 カレンダー

10月			11月		
1	土		1	火	
2	日	例会山行1 松尾山~矢田山(多賀)	2	水	
3	月		3	木	
4	火		4	金	
5	水		5	土	
6	木		6	日	
7	金	自主山行 北アルプス:雨飾山・ 拇池高原(藤井)	7	月	
8	土		8	火	
9	日		9	水	
10	月		10	木	
11	火		11	金	
12	水		12	土	
13	木		13	日	公開山行 音羽三山(亀高)
14	金	座学《地図読み》(19:30)	14	月	
15	土		15	火	
16	日	教育山行《行先未定》(藤本)	16	水	
17	月		17	木	
18	火		18	金	座学《地図読み》(19:30)
19	水	西大和つうしん原稿締切	19	土	
20	木		20	日	教育山行:ルートファインディング(藤本)
21	金		21	月	
22	土		22	火	
23	日	例会山行2 県連交流山行 るり溪~深山(今井)	23	水	西大和つうしん原稿締切
24	月		24	木	
25	火		25	金	
26	水	10月度室内例会(19:30)	26	土	
27	木		27	日	例会山行2 雨乞山(辻)
28	金		28	月	
29	土		29	火	
30	日		30	水	11月度室内例会(19:30)
31	月				

# 山行・行事等参加メモ

No	氏名 (入会順)	9/28 室内 例会	10/2 松尾山 矢田山	10/7- 10 雨飾山	10/14 座学	10/16 教育 山行	10/23 交流 山行	11/13 (公開) 音羽 三山	9/30 御池岳	
1	(窪田)									
2	都築		○							
3	藤井			LO			○	○	○	
4	(石田)									
5	多賀		LO					△		
6	田中悦		○				◎	○		
7	島崎		○	◎	○		◎		○	
8	田中初		○				○	○		
9	村田		○	○			○	△	○	
10	林		○		○			○		
11	辻		○					○		
12	勝尾		○		△			○		
13	藤本		○		講師	LO	○	○		
14	杉村		○	○	△		△	○		
15	高橋									
16	玉越									
17	杉川				○					
18	阪口		○					○		
19	橋本		○		○		○			
20	今井				○		LO			
21	亀高		○				△	LO		
22	松浪									
23	亀井				○					
24	船江				○			○		
25	野路			○	○					
26	中									
27	杉森				○					
28	上田			○	○			○	○	
	合計		14	6	11		8	12	4	
	緊急 連絡先		藤井	辻			辻	都築	辻	

L:リーダー、○:参加、◎:車運転

\*※室内例会時点でのデータであり、その後変更されることがあります。

# 山行報告

## 夏山自主山行

### 北アルプス 後立山連峰 唐松～五竜～鹿島槍

【日 程】8月18日(木)夜発～22日(月)

【参加者】L 藤井・SL 勝尾・杉村・橋本・野路(5名)

#### 8月19日(金) (曇り時々晴れ) 唐松岳

【コース】八方駅 Gondola 駅(9:45)～八方池山荘(10:45)～第二ケルン(11:25)～  
八方大池(12:00/12:40)～丸山ケルン(14:05)～唐松岳(15:00)〔泊〕

ゴンドラ、リフトを乗り継ぎ八方池山荘から登る。8月11日の「山の日」に唐松岳から下山した時は、登山者、八方池あたりを散策する人達で一杯だったが、今回は混雑もなくゆったり歩く事が出来る。

登り始めは青空も見られたが徐々に雲が広がる。八方池で雲の切れ間から見える白馬三山方面を見ながらゆっくり昼食をとり、唐松山荘迄は花を愛でながらの楽しい山歩き。危険な箇所もなく唐松山荘に着く。あいにくガスが立ち込め唐松岳頂上からの後立山連峰の展望は望めないが、一週間前に白馬から唐松岳迄縦走した2名を除き、3人



のみピークを踏んだ。

BS 放送の山番組でガイドとして出演されたこともあるガイドの方と夕食時に一緒にテーブルになる。とても気さくな方で、私たちが明日歩くルートを話すと「G4、G5の険しい岩場もあるけれど、危険な場所にはしっかりした鎖がついているので問題なく通過できる」と話してくださる。又キレット小屋の食事にはキャベツが一杯ついていておいしい事など色々教えてくださった。明日は歩行時間が長いので少し不安もあったが、気持ちが少し楽になった。天気になる事を願い一日目終了!

#### 8月20日(土) (晴れのち曇り時々小雨) 唐松山荘～五竜岳

【コース】唐松山荘(6:20)～五竜山荘(9:00/22)～五竜岳(10:50)～北尾根の頭(13:42)～  
口ノ沢コル(14:15)～キレット小屋(16:10)〔泊〕



目覚めると夜明け前の満月の月明り。晴れマークの天気予報を確認し、五竜岳を目指して唐松山荘を出発。雄大な山容が目の前に広がる。直ぐに牛首の岩稜帯に入る。鎖はついているが、岩がゴツゴツして朝一番に通過するには緊張した。慎重に慎重に足を運び、無事通過し五竜山荘に着く。予報に反して次第にガスが立ち込め周りの景色も見えなくなる。五竜岳ピークを踏み、

キレット小屋に向かう。岩場のアップダウン、鎖場を何度も繰り返す。昨日ガイドの方から聞いていた G5 の岩場が見えてきた (G4 は解らなかった)。コースには矢印や丸のペイントがされていて、見落とさなければ迷うことはなさそう。もうそろそろ小屋に近いのかなと思っていると「キレット小屋迄 25 分ガンバレ」の札が鎖にかかっている。「ヤッター、もう少しや」と期待したが、なんのなんの又岩の登り降りの繰り返しや滑りやすいザレ場の急坂を下る。次は「小屋迄 10 分」の表示。「エー、まだ着かない」ガッカリ!!

長い長い道のりだったが、ガスっている先にぼんやり建物が見えた時は本当にホットした。一日中険しい岩山歩きに疲れ、午後からは小雨も降り天気が思わしくなく、歩いて来た稜線を見る事が出来ず残念に思った。



### 8月21日(日) (曇り時々晴れ)

【コースタイム】 キレット小屋(5:55)～吊尾根分岐(7:30)～北峰(7:40)～吊尾根分岐(8:00)～鹿島槍ヶ岳(8:55/9:15)～布引山(10:17)～冷池山荘(11:40/13:00)～種池山荘(16:05)〔泊〕



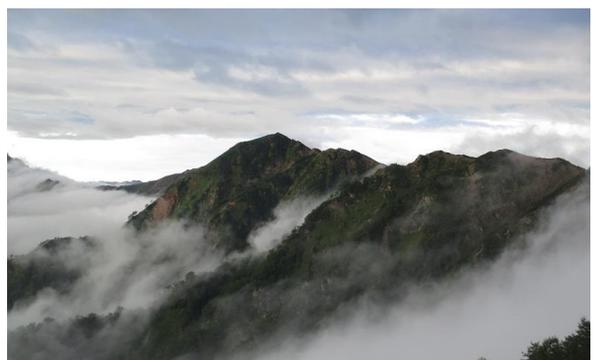
今回山行の核心部である八峰キレットを通過し、双耳峰の鹿島槍ヶ岳へ登る。昨日の雨で濡れている岩場、鎖場、梯子、栈橋を通過するが、思ったより大変ではなかったように思う。昨日一日岩場を歩いたので少しは慣れてきたのかな。「いやいやこの慣れが禁物」と戒め、慎重に歩いた。北峰、南峰では青空が広がり、巖かな剣岳をはじめ立山連峰を眺める事が出来た。南峰を超えると、ガレ場ではあるが今までの岩場とは違い、なだらかな登山道になり緊張感も和らぐ。布引山を経て冷池山荘に着きゆっくり昼食時間をとり体を休めた。

午後からは爺ヶ岳のピークを踏み種池山荘迄行く予定だったが、あいにくガスっていることもありトラバースした。ハイマツが一面に広がる斜面は見事で雷鳥との出会いもあり、心休まる楽しい山歩きが出来た。

### 8月22日(月) 曇り

【コースタイム】 種池山荘(5:55)～扇沢(10:05)

台風9号接近の影響でどんよりとした空模様。はるか遠く見える水晶岳だけが曙色に染まったのか、虹がかかった様に見えとても美しかった。雨に会わない様にと願いつつ柏原新道を扇沢まで下山した。(記：橋本紀子)



## 夏山自主山行

# 南アルプス 甲斐駒ヶ岳・仙丈ヶ岳

【日 程】8月24日(水)～27日(土)

【参加者】L 島崎・今井・中・杉森(4名)

8月25日(木) (曇り時々晴れのち雨) 甲斐駒ヶ岳 2,967m

【コース】仙流荘(5:55 発)⇒(バス)⇒(6:45 着)北沢峠(7:00)～仙水峠 2,264 m(8:25)  
～駒津峰 2,874m(10:14)～甲斐駒ヶ岳 2,967m(12:20/55)～双児山 2,649m  
(15:15)～北沢峠・こもれび山荘(17:05)〔泊〕

前日の仙流荘バス停の休憩所は、畳敷き布団ありで仮眠と言うより快眠でした。バス待ちの人数が多く臨時増発も出て、予定より15分早く出発できました。私は何年ぶりのアルプスで、きれいな水洗トイレに驚きつつ準備を終え、北沢峠を予定の時刻に出発しました。曇り空の下、苔の美しい樹林帯を登り仙水峠



をぬけると岩稜が多くなりました。雲にかこまれて周りの展望はないものの、切れ間からの山容を眺めつつ、駒津峰からの稜線付近は、晴れていて明るく、周りの山々は雲の中で展望も望めないながら雲間から青空も見え、所々爽やかな風が吹きぬけ快適でした。30年ぶりアルプスの登りでバテぎみの私は、足どりがにぶくなったところで甲斐駒ヶ岳への直登となり、気を引き締め背中の中のザックの重さを感じながら、しばらくの登攀を楽しみと言うか、この山の本領を知る思いで心を引き締め、手足を動かし頂上到着！



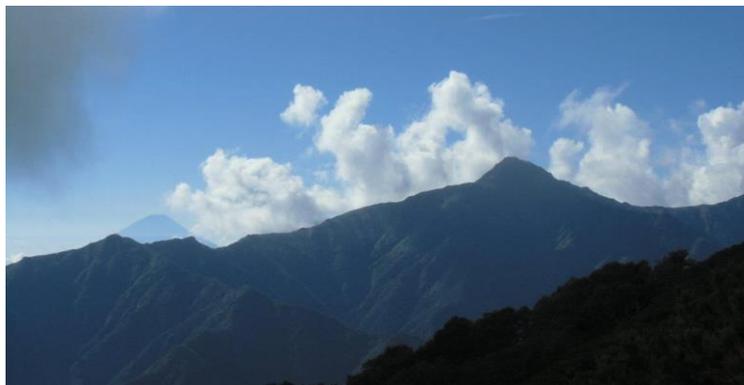
残念ながら展望がないものの、達成感を満喫しました。雲がきれ、青空と荒々しくも雄大な甲斐駒ヶ岳の山容を、何度も振り返り余韻を楽しみながらの下山となりました。あと少しのところではぽつぽつと雨が降り、山荘に着いた頃に小雨になりラッキーでした。バテぎみの私の目線は低く、ナナカマドやコケモモの実が色づき、うすい黄緑のトウヤクリンドウなどに励まされながら、秋に変わりつつある山を楽しみました。

(記：中昌子)

## 8月26日(金)(晴れ) 仙丈ヶ岳 3,033m

【コースタイム】北沢峠(5:15)～大滝ノ頭(7:05)～小仙丈ヶ岳 2,855 m(8:30)～仙丈ヶ岳 3,033m (10:00)～仙丈小屋(10:30/11:05)～馬ノ背ヒュッテ(11:45)～大滝ノ頭(12:37)～北沢峠(14:10/14:25 発)⇒(バス)⇒仙流荘(15:10)〔泊〕

4:00 起床、弁当形式の朝食を手早く済ませ予定より早く出発した。前日の疲れを吹き飛ばす程の好天だ。シラビソの樹林帯を緩やかに登って行く。緑が朝日にきらめき清々しい。30分程歩くと鋸岳、甲斐駒ヶ岳の雄姿が見え出す。昨日霧のため全容が見えなかった分を取り戻すべく、何度も振り返りながら歩く。高度を上げるにつれ北岳、鳳凰三山などが見え始め、南アルプス北部の景色がはっきりしてきた。2時間弱で大滝ノ頭に着く。暫くして北アルプス～中央アルプス～南アルプス～富士山までの大パノラマが展開される。北の方から槍・穂高が雲海の中にくっきり顔を出している。何処から見ても素晴らしい、憧れの山々である。近くにはハヶ岳連峰が存在感を示している。南に目を移すと北岳から聖岳へと3000mの尾根が続いている。その向こうにはひと際高い富士山が大きく見える。実に雄大で神々しい、やはり日本一の山である。富士山・北岳を背景に写真を撮る。



小仙丈ヶ岳までのやや急な登りを終えると、頂上まで緩やかな稜線が続く。3000mの稜線を歩くのは本当に気持ちがいい。昨日からの疲れは少しもない。Iさんが「山行の醍醐味は稜線歩きが一番！」と声を弾ませて言った。同感である。

遂に頂上に到着。暫く標高3000m、360度のパノラマを楽しんで仙丈小屋まで下る。青空に映える稜線と蘆沢カールの雄大な景色を見上げながらする食事は、どんな一流ホテルレストランの食事より贅沢である。仙丈ヶ岳の一等地でゆっくり休憩して、いよいよ下山開始。馬ノ背ヒュッテまではリンドウなどのお花畑が広がっているが、時期的に遅く、鮮やかな色を失っていた。大滝ノ頭に着く。上りと違いピッチが速くなり、北沢峠には予定よりだいぶ早く着いた。

憧れの仙丈ヶ岳は予想よりずっと良かった。原生林、岩稜、カール、お花畑、標高3000mと変化に非常に富んでいる。約5時間の登りは結構手応えがあるが、登山道は整備されておりとても歩き易い。小1の子供を連れた親子もいた。天候に恵まれ楽しい山行であった。今後また登りたいと思う。(記：杉森英二)

## 例会山行2

# 室生赤目 赤目四十八滝

【日 程】8月28日(日) (雨)

【参加者】L辻・藤井・田中悦・島崎・田中初・藤本・杉村・橋本・今井・亀高・松浪・船江・杉森 (13名)

【コース】赤目滝バス停(9:55)～行者滝(10:08)～不動滝(10:15)～千手滝(10:27)～布曳滝(10:34/50)～荷担滝(11:38)～琵琶滝(11:50)～岩窟滝(12:00/35)～赤目滝バス停(14:08)

今日の例会山行は、電車・バス・入山料・割引券がセットされたお得な赤目四十八滝自然探勝きっぷを使ってのハイキングです。

雨が降っているのに、コース後半の長坂山を登らないで岩窟滝までの往復に変更。入山口で天然記念物のオオサンショウウオを觀賞してから、滝川の遊歩道を歩いて行くと、小さな行者滝を過ぎて赤目五滝のひとつ不動滝に着く。

明治の初めまでは、ここから先は入れなかったそうです。赤目牛像は、撫でると目にご利益があるのと、丑年生まれなので撫でました。そこから20分ほど行くと、布曳滝で細い水流が紺碧の水面の滝壺に落ちる様は美しく神秘的でした。岩の両側から流れている荷担滝は、十数年前に見たときよりも水量が少なく迫力がなく残念

でした。色々な滝を散策しながら進んで行くと入口にロープが張られた長坂山の登山口がありました。上の方を見上げると急登の登山道でした。最後の岩窟滝で食事休憩をしてから来た道に戻って行くと、午前中あまり人に会わなかったが、大勢の人が散策に訪れていました。

バス停まで戻って来るとバスの発車時間まで40分あるので、近くのお店に入り久しぶりの再会でおしゃべりしながら美味しいケーキセットを頂きました。雨の山行だったけどマイナスイオンたっぷりの滝川渓谷の自然を満喫し2ヶ月ぶりの山行を楽しみました。(記:田中初子)



# 夏山自主山行

## 北アルプス 南岳～穂高連峰縦走

【日 程】9月1日(木)～5日(月)

【参加者】L島崎・杉村・橋本・野路(4名)

9月1日(木)(晴れ)

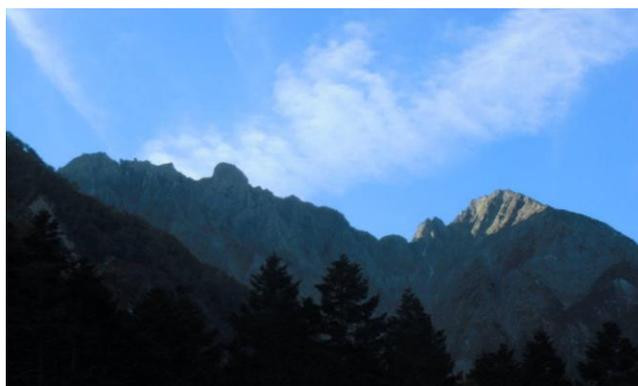
【コース】佐味田川(4:00)⇒新穂高無料駐車場(9:00/15)～林道入口(9:30)～  
穂高平小屋(10:20/30)～白出沢出合(11:30/12:00)～滝谷出合(13:07/17)  
～槍平小屋(14:30)〔泊〕

雨天を考慮して9/3の出発予定を9/1に変更しました。予定時間より早く新穂高温泉無料駐車場に着きました。満車状態でしたが1台の空きスペースが…なんと幸運な出足かも。

今回は難易度の高い大キレット、涸沢岳、穂高縦走を考え、荷物の重さを出来るだけ軽く9キロ程度に抑えました(前回の鹿島槍の教訓からです)。静かな飛騨沢コースを新穂高ロープウェイ乗り場前から右俣谷林道入口へ。

緑豊かな樹林の山道でした。後ろから来たベテランらしい登山者が穂高平小屋までのショートカットの道を行かれましたが、私達は通常の道を取りました。穂高平小屋はしまっていましたので、僅かの休憩で林道を進む事に…。白出沢に着きました。涸れ沢でしたがこの沢は奥穂の白出のコルに通じています。

資料を見ますと9時間ぐらいかかるそうです。ここで昼食をしていると、ご夫婦の登山者が、あまりにも軽いいでたちで来られましたので、どちらへ行かれるのか尋ねますと双六といわれました。「ん～？」私は其のコースを頭に描くことは出来ませんでした。奥様を見ているととても考えられない小さなザックで…。しかし私達は登山者の何人かは追い越しましたが、一緒の道を歩いている間は二人を見ることはありませんでした。やはり北アルプスは違う～…かも。



暫く進むと滝谷沢に出ました。大きな岩の上にはライブカメラが設置されています。3年か前に豪雨の後無理に渡られ、亡くなられた沢やねと話しながら渡っていると、石の上にそれは古くて汚い大きなザックが2つちょこんと置いてあり、周りには虫が一杯寄っていて持ち主も見当たらない様子、さてこれは…私達3人が出した結論は、遭難者がヘリコプター

で救助され亡くなったから荷物を取りに来られず置かれたままなんだわ。きっと中身は腐っているよ～。え～。気持ち悪いね～。

だれが話し始めたのか定かではありませんが、南沢で休憩していると、あちらから来るおじさんが担いでいるのはもしや……。びっくりと驚きで笑うしかなかったです。良く考えるとそんなことはあり得ないですね。

小さい沢をいくつか渡り予定より大分早く槍平小屋に着きました。美味しいビールを飲みながら正面に見えるドーム型の山はジャンダルム、そして横は穂高、部屋から見えるからいいねと話が弾みましたが、出発時小屋の人に聞くとジャンダルムは見えないです。あれは滝谷ドームです。ん～。その後地図で確認。

「弥次喜多プラス2道中」笑いが絶えない楽しい山行でした。

(記：杉村好子)

### 9月2日(金) (晴れ) 南岳 3,033m

【J-ｽﾀｲﾙ】槍平小屋(6:25)～救急箱設置場 P2550(8:55)～南岳小屋(10:55/11:35 食昼)  
～南岳(12:00)～南岳小屋(13:15)〔泊〕



朝日を浴びる涸沢岳、涸沢槍、滝谷ドームを槍平小屋から眺め、南岳まで約1,000m登っていく。樹林帯を通過し南沢を渡ると、次第に急登になり、梯子、鎖場を通過する。2,550m付近には槍平小屋によって救急箱が設置されている。高度を上げていくと笠ヶ岳等西側の展望が広がる。遠く富士山や白根三山もきれいに見えてくる。なだらかなガレ場を登り切ると南岳小屋に到着。

南岳山頂では360度すべて稜線が見渡せ昨年歩いた表銀座、やっぱり行ってみたい常念岳・蝶が岳、本当に存在感がある槍ヶ岳、時間のすぎるのを忘れてしまう。

大キレットを通過してきた若者に感想を聞いてみると、「お天気が良く、すべて見渡せ高度感がすごかった」との事。又、「北穂まで行きます」と単独の若い女性。たくましいなと感心する。南岳の南端の獅子鼻の展望台では、大キレットの険しい稜線、北穂高岳の先には小さく小さく小屋が見える。荒々しいゴツゴツの岩山、吸い込まれそうな高度感これが穂高なのだ。こんな山に自分が立てると思いもしていなかったの、なんだか感慨深い。

難路を目の当りにし、身の引き締まる思いを胸に、慎重に歩く事を自分に言い聞かせた。

小屋に掲示されている明日の天候予報を確認すると、午後に崩れる様な予報が出ている。早く南岳に着いたこと、天気は快晴！このまま北穂高岳まで行った方がいいのではないかと女性陣の意見。リーダーに何度か話すが「今日は4時間急登を登り疲れているので無理はしない。これからの天気予報をみて、明日朝早く立つか、コースを変更するか考えると最終判断。



少し心残りの私たちは、揺るぎないリーダーの態度に納得し、好天になることを祈りながらゆっくり過ごす（皆の願いが通じたのか翌日好天となったのです）。こんなメンバーにもいやな顔もせず引っ張ってくださったリーダーに感謝しました。  
(記：橋本紀子)

### 9月3日(土) (晴れ) 大キレット、北穂高岳 3,106m、涸沢岳 3,110m

【コース】南岳小屋(5:30)～長谷川ピーク(7:20)～A沢のコル(8:00)～北穂高小屋(9:40/10:15)～北穂高岳(10:18)～昼食(11:55/12:15)～涸沢岳(13:30)～穂高岳山荘(13:55)〔泊〕

さあー今日が、今回のメインの岩稜コースであり、いままでの夏山山行中、最大の挑戦が始まる。前日、天気予報がかなり気になり、一部に2日中に行った方がよいのではとの意見もあったが、雨などなんの心配もないぐらい見事に晴れ渡り、最高の気分スタートする。大キレットはかなりの高度感があるが、石段・鎖・梯子等かなり整備されているので、慎重に下って行けば、そう問題がないくらいで、拍子抜けの感じがした。

大キレットを下ってからはアップダウンの岩稜歩きが続くので、注意を要する。長谷川ピークへの登りとA沢のコルへの下りがかなりの緊張感を強いられる。A沢のコルで一服して、いよいよ見上げる



飛騨泣きの登りである。登って行くにつれて、A沢のコルと長谷川ピークが眼下に見おろせる高さにまでになってきた。さらに一段登って行くと、北穂高小屋が見え

てきでした。あとひと頑張り。北穂高小屋からは、今まで歩いて来た、稜線が見わたせる。蝶が岳・前穂高岳・涸沢ヒュッテ等が見え、取りあえず、よくそここまで無事に来たもんだ！！

北穂高岳からは、これから行く涸沢岳までの稜線が長く連なっている。再度気を引き締めて、下って行く。ところが登り・下りが半端ではなく、連続してアップダウンを繰り返す。登ってくる人に聞くと、いやいやこれからはまだまだ大変ですよとの返事がかえってくるので、どの程度のものか想像しがたい。5・6年前来たコースなんだが、ほとんど忘却の彼方なので、参考にならず、最低のコルまで下って、いよいよこれからは登り。途中の梯子がバランス悪く、横にトラバースするのに、オーバーハング状態の処を慎重に渡る。又梯子があって鎖もあり、兎に角、登る、登る。振り返ると歩いてきた稜線が、ながながと見える。登りつめたところが涸沢岳。やっと到着、眼下には穂高岳山荘が見える。あとは穂高岳山荘まで！！

皆さんの健脚に助けられて何とか無事到着しました。  
(記：島崎隆)



### 9月4日(日) (晴れ) 奥穂高岳 3,190m、前穂高岳 3,090m

【コース】穂高岳山荘(5:50)～奥穂高岳(6:35)～吊尾根南稜の頭(7:00)～紀美子平(8:35)～前穂高岳(9:25)～紀美子平(10:00/15)～岳沢小屋(12:15/35)～風穴(13:45)～上高地バスターミナル(14:35/15:00)⇒(タクシー)⇒新穂高駐車場(15:50)⇒栃尾温泉おき乃(16:15) [泊]

1日の出発の時にはなかった台風12号が、1日の午後には発生していた。4日間の日程の中で一番お天気が危ぶまれ、予報は雨になっている。雨の時はザイテングラートから涸沢小屋を経て下山をする事になっていた。前日夕方の天気予報が気になり全員見ていたが、予報は「午前中曇りと霧、12時から雨」となっていた。



朝三時半に目覚めたので外に出て見ると、曇りではなく雨が降っている。「ああ、今日は中止で、コース変更だなあ!」と思っていた・・・が、朝食の時間になると、雨はすっかり上がり、東の空から真っ赤な太陽が顔をだしてきた。「やった!! 今日晴れだ!!」

朝食を済ませ、山荘を後にして「さあ出発」、いきなり梯子になる。かなりの人達が登って行く。又降りる人達と混雑していた。昨日同様、岩稜地帯を登って約45分、奥穂高岳に着いた。アルピニストが一度は目指してみたいジャンダルムが目前に見える。



360°の大パノラマ、北アルプスの壮大な景色を今日も見られる事に感動する。私達が歩いて来たキレットや北穂、涸沢岳は勿論、南岳や槍ヶ岳迄くっきりと見える。これから進む前穂、2峰、3峰、4峰と8峰まで続いていた。遠くは富士山や北岳まで見えた。



しばらく進むと南稜の頭に着き、いよいよ吊尾根を下る。北穂や涸沢岳よりも高度感は少ないが、やはり岩場や鎖場、トラバースが沢山あった。紀美子平で暫く休憩の後、空身で前穂高の頂上を目指す。かなり混雑していた。

再び紀美子平に戻り重太郎新道を下って岳沢小屋へ。小屋までの道程は、岩場、鎖場、ガレ場と続いていたが、小屋から上高地までは歩きやすい道程であった。途中、天然クーラー「風穴」があり、冷たくて心地よい風が吹いていた。

「雨」と覚悟していた最終日、快晴となり連日青い空の下、北アルプスの核心部、南岳から大キレット、穂高連峰を歩けた事は、本当に思い出に残る、素晴らしい山行となりました。仲間の皆さまに、ただただ「感謝」あるのみです。（記：野路政子）

## 例会山行3（教育山行） 県連広域搜索訓練

### 大峰前衛 朽ヶ山 809.2m

【日 程】 9月4日(日) 晴れのち曇り

【参加者】 西大和:6名 (L 杉川、藤本、田中悦、林、今井、中)、奈良労山:16名、  
こぶし:11名、奈良 HC:5名、山楽会:1名、材マルガ 3名、JAC:2名

【コース】 Aコース：長谷～高岳～谷集落～長谷／奈良 HC・材マルガ

Bコース：長谷～黒木～朽ヶ山～黒木～長谷／西大和・こぶし

Cコース：坪井垣内～櫃ヶ岳～朽ヶ山～黒木～長谷／奈良労山

【コースB】 B：黒木(10:30)～合流点(11:20)～朽ヶ山 809m (13:07)～黒木(14:30)



我が会はBコースでした。頂上までに合流点1か所あり、登山口が2か所もありました。二手に別れて登り始めると途中に何本もの道があり、入ると人家に続いているところもあって、引き返しつつ搜索しました。登山道はあるものの倒木も多く、よけながらの登りでした。中間地点の合流点で待ち合わせて少し登り、本道から横道を行くと743mのピークがあり、

前もってそのあたりが怪しいのでは、と検討をつけて藪こぎもしましたが、黄色の目印のテープは見つからず、「朽ヶ山」と書いたニセ標識がくくりつけられていたのには、あきれました。

頂上をめざして腐りかけた倒木をよけながら登って行くと、また直登と一般道から頂上へと道が分かれており二手で搜索しましたが、見つからないまま、頂上に着いてしまいました。下山しながら、合流点を少し下ったところで、一度入った道をもう一度もっと奥まで行ったところで目標のテープを発見、使命を果たせました。100m ぐらい入って搜索するという基準でしたが、人によって感覚の違いがある事を実感しました。テープを見つけ、笛を吹かないと、と思いつつも、全員のほっとした笑顔が印象的でした。なお、Aコースではなかなか見つからず、携帯でヒントをもらい発見できましたが、ついにCコースは発見できずという結果でした。  
(記：中昌子)



## 例会山行 1

# 信貴生駒 千光寺～信貴山

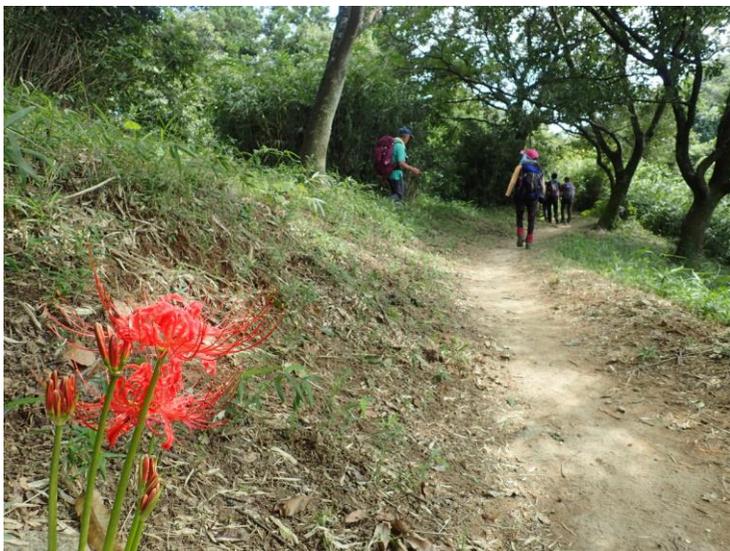
【日 程】9月11日(日) (曇り)

【参加者】A班：CL 勝尾、L 林、SL 島崎、藤井、杉村、杉川、船江、中  
B班：SL 多賀、辻、今井、野路、杉森 (13名)

【コース】元山上口駅(9:32)～揺るぎ地藏(10:20)～千光寺(10:32/45)～鳴川峠(11:25)  
～鐘の鳴る丘(昼食 12:08/45)～十三峠(13:00)～信貴山(14:38)

スタート地点の元山上口駅から千光寺までいくつかの集落を通る。途中、田畑や里山を歩いているとほっとした気持ちになる。子供の頃野山をよく走り回っていたので、里山に入ると言わば「原風景」として懐かしいのである。千光寺に着く。役行者が山上ヶ岳よりも先に開いたということで元山上と言われている寺である。初耳だった。山上ヶ岳には何度も登っているが、千光寺は初めてである。境内では水車がのんびりと回っている。修験道場の方から法螺貝の音が聞こえる。自ずと厳粛な気持ちになる。日陰の涼しい場所で休憩。

千光寺を過ぎ溪流沿いに竹藪を緩やかに登っていく。蝉が涼し気に鳴いている。時々道沿いに彼岸花を見つける。確実に秋の到来だ！鳴川峠を過ぎると縦走路になりピッチが速くなる。鐘の鳴る丘に着く。河内平野、奈良盆地は残念ながら霞んでよく見えない。一方生駒山は悠然と大きく見えるが、ここから約10kmもある。機会があれば、生駒山～信貴山を縦走したいと思う。展望台の下で昼食・休憩を



とる。午後からはスカイライン沿いに歩く。これまでの雑木林から笹藪に景色が一変する。歴史を辿れば生態の変化の過程が分かるのだろう。地元の山なので調べてみたい気もする。余談だが、スカイラインを車で走るだけではこの変化に気づくまい。笹藪の中は草いきれが凄いが、どこか秋の気配を感じさせる。時折信貴山の方から来る人に出会う。30人ぐらいの団体とすれ違った。女性だけのパーティかなと思ったらリーダーらしき男性が一人いた。いよいよ信貴山に向けて下って行く。石畳の長く続いている所があり、濡れて滑りやすい。幸いヒヤリ・ハットはなかったが、最も注意を要する所である。弁天の滝に着く。冷たい水で顔を洗いさっぱりする。まもなくして信貴山に着いた。

休憩を含めて5時間、約13～4kmのコースは竹藪、雑木林、笹藪など変化に富み味わい深い縦走路である。また、いくつかの里山に入ると懐かしい気持ちになり癒される。里山の良さを再認識するとともに、秋の気配を十分感じた山行であった。

(記：杉森英二)

# 室内例会だより

【日 時】2016年8月31日(水) 19:30~20:45 事務所

【出席者】都築、藤井、多賀、田中悦、島崎、田中初、村田、林、辻、勝尾、藤本、杉村、玉越、杉川、阪口、橋本、今井、亀高、亀井、船江、野路、中、杉森、上田

## 1. 山行案内

9月1日(木)~5日(月): 自主山行 北アルプス《南岳~穂高縦走》……L 島崎  
9月4日(日): 例会山行3(教育山行)《広域搜索訓練》……L 杉川  
9月11日(日): 例会山行1 信貴生駒《千光寺~信貴山》……L 勝尾  
9月24日(土)~25日(日): 例会山行2(テント泊) 八ヶ岳《赤岳》……L 辻  
10月2日(日): 例会山行1 矢田丘陵《松尾山・矢田山》……L 多賀

## 2. 山行報告

7月26~30日: 夏山自主山行 北アルプス 榎海新道<朝日岳~親不知>L 辻・4名  
8月8~11日: 夏山自主山行 北アルプス<白馬岳~唐松岳>L 島崎……5名  
8月9~13日: 夏山自主山行 北アルプス<涸沢岳・奥穂・前穂>L 亀高……5名  
8月21日: 例会山行2 越美山地<能郷白山>L 田中悦……7名

## 3. 山行ヒヤリハット報告

- (1) 榎海新道: 天候の関係で日程・コースを変更。ヒヤリハットは特別なかった。
- (2) 白馬岳・唐松岳: 1名が1日目夜嘔吐。下痢等の体調不良になる。2日目には徐々に回復し、行程を歩くことが出来た。山行が続いていたこと、嗜好品の摂りすぎ、薬(睡眠導入剤)の服用等が関係したのではないかとのこと。
- (3) 涸沢岳・奥穂高岳・前穂高岳: 1名が山行前に左足を捻挫し、岳沢からの下りに時間がかかった。当初計画のルートは経験者がいない等のため、北穂高岳~涸沢岳間を回避するルートに変更した。
- (4) 能郷白山: 足の痙攣の為1名が歩行困難になる。リーダーが付き添いその場に留まる。他メンバーはピークを踏む。2時間程で回復し全員で下山。

## 4. 連絡その他

### ★県連関係

- ・県連40周年記念交流山行: 【日程】10月23日(日) 【行先】るり溪~深山
- ・近畿ブロック女性担当者交流会 《興味のある方は参加できます》  
【日程】10月15~16日 【場所】葛城高原ロッジ 【参加費】9,500円  
【予定】15日: 「登山と美容」の講演、16日: 交流山行
- ・上記2点の詳細は県連ニュース9月号に記載されています。

### ★本会より

- ・9月11日(日)例会山行後、暑気払い開催。【場所】王寺「や台ずし」
- ・窪田さん宅の駐車場使用の注意  
現在使用させて頂ける場所には札を掛けます。他の場所には絶対駐車しないで下さい。その場所に駐車できない場合は窪田さん自宅横に駐車してください。上記、必ず厳守ください。

❁治療中の阪口さんが出席され事故当時の状況、現在の様子等説明されました。  
(記: 橋本紀子)

# 西大和つうしん

第412号（2016年10月号）

2016年9月28日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 亀高 茂

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会  
〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32  
窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<http://www.nishiyamatoyama.com/>